

1. “3・11 2周年まであと1ヶ月！”

知ろう！語ろう！つながろう！2・11ティーチインちば”

3・11 震災・原発事故2周年を迎えようとしています。2013年3月11日にどう行動するか？原発推進、憲法改悪、オスプレイ配備、沖縄・名護新基地建設、TPP、増税等々にどう立ち向かうのか？を討論していこうと「2・11ティーチインちば」が設定されました。とことん討論し、行動方針をはっきりさせていきましょう。

●2月11日(月・休)13時～ 千葉市生涯学習センター・和室

2. 冬休み保養、無事成功裡に終了しました。

1月4日から7日まで、南房総市岩井海岸小池荘にて「冬休み保養」を実施しました。7家族25人受け入れを予定していましたが、1家族が直前になってインフルエンザのため欠席され、6家族23人となりました。

スタッフは20名。参加者は総勢30名。4日間で延べ64名でした。第1回冬休み保養にいらして館山に移住されたMさんご一家、虹のかけはしの成田さん、Sさんご一家も小池荘まで来て下さいました。地元南房総市のスタッフ4名、NPOみんなの家(遊びの出前をする団体)のスタッフ3名等、スタッフの拡がりを目をみはるばかりでした。今回は「夏休み保養」とは違って変わって、ゆったりと余裕を持って取り組むことができました。スタッフも資金も心配は一切ありませんでした。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

今回のメインプログラムの鋸山ハイキングは強風のため、雨天の時に準備した鴨川シーワールド行きに変更しました。シーワールドではIさんのご尽力により入場料半額で楽しむことができました。鋸山登頂は、地元の方の話によれば3月までは危険なので、子供たちの登頂は中止となっているのだそうです。次の機会にとっておくことにしました。

「福島のことを聞かせてください」交流会で私たちは福島の現実のすさまじさを知りました。今、チェルノブイリで生まれる子供たちの8割が心臓に穴のあいている等、様々な障害を持っていると聞きます。チェルノブイリでは強制移住地区同様に線量の高い福島に囲い込んで出さないという国や県の方針、やり方に怒り心頭です。原発を廃止し、そして福島囲い込み政策をぶち破る行動、そのための団結が本当に求められています。福島のお母さんたちは翌日独自の交流会を持ちました。これが福島での横のつながりの一つになっていったらうれしいことです。

子どもたちはたくさん遊んで満足して帰って行きました。この子たちを千葉より10倍以上高い線量下に帰すのはなんとも忍びないものがあります。頑張らなければなりません。

3. 疎開裁判について一会員読者からの投稿

「福島の子どもは皆の子ども」のシュプレヒコールが毎週金曜日に文科省前にとどろく。福島集団疎開裁判である。郡山市の小中学生14名が郡山市に対して、年1mSV以下の場所での教育を求めて、仮処分を申し立てた。

郡山地裁は野田「収束宣言」に合わせ、原告の申立てを却下。二審は仙台高裁で行われ、1月21日第3回審尋で判決を待つまでとなった。しかし、どのメディアも疎開裁判の報道をしないで東電・国の片棒を担いでいる。

被曝の事実が次々と明らかとなり、子ども達の健康被害が福島だけでなく拡大している。また、福島の子ども達には血液検査結果が報告されていない。国と東電の原発事故隠しによって被曝をしいられた子ども達に、更なる被曝を強要することは人道的に許されること

ではない。先の戦争での集団疎開は爆撃が目に見えたから。福島の子ども達の集団疎開は放射能＝被爆隠しとの闘い。脱被曝！民衆の怒りで福島集団疎開を実現させよう。

4. 街宣・署名行動等 (省略)

5. 署名数(1月19日現在)

原発反対 5,388 筆(+212 筆)。沖縄 3,326 筆(+63 筆)。裁判員制度反対 2,432 筆(+29 筆)。星野さん再審・釈放 1,802 筆(+1 筆)。

①街頭署名

日時	場所	人数	反原発	*	沖縄	星野	裁判員	ビラ
計	6回	25	212	122	63	1	29	500+*50部

*「反原発」欄の*は「さよなら原発1000万署名」の集約数です。

*カッコ内の金額は、保養カンパです。

*ビラの*は全国通信の部数です。

2月の予定

(省略)